

■日 時 令和4年1月11日(火)、20日(木)、25日(火) 3日間
オンライン研修講座 (Cisco Webex Meetings を使用)

■プログラム

コーディネーター (有)日下レアメタル研究所 鹿毛秀彦 氏

令和4年1月11日(火)

1. 鑄鉄の材質及び基礎技術

【鑄鉄の組織及びねずみ鑄鉄の材質と用途】【球状黒鉛鑄鉄の材質と用途】

岩手大学 堀江 皓 氏

2. 鑄鉄溶解の基礎【誘導炉溶解の実際】

草野産業(株) 鈴木敏光 氏

2. 鑄鉄溶解の基礎【キュポラ溶解の実際】

(株)ナニワ炉機研究所 村田博敏 氏

令和4年1月20日(木)

3. 鑄造方案の考え方と欠陥対策

【鑄造方案の考え方】【鑄造欠陥とその防止策】

(有)張技術事務所 張 博 氏

3. 鑄造方案の考え方と欠陥対策【鑄造 CAE と鑄造方案】

クオリカ(株) 木下文昭 氏

4. 造型技術の基礎【自硬性鑄型の砂管理と鑄造欠陥】

(株)木村鑄造所 菅野利猛 氏

令和4年1月25日(火)

4. 造型技術の基礎【生型造型法と生型砂】

(公社)日本鑄造工学会 佐藤和則 氏

4. 造型技術の基礎【中子造型法と砂】

(一社)日本鑄造協会 鈴木伸二 氏

5. 品質管理とQC7つの道具

小林技術士事務所 小林良紀 氏

6. 品質管理と品質保証【組織試験、機械的性質試験】

元 日立金属(株) 五十嵐芳夫 氏

6. 品質管理と品質保証【非破壊検査】

(有)日下レアメタル研究所 鹿毛秀彦 氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/27/#block373-146>

【問合せ先】

一般財団法人 素形材センター 企画部

e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp

Ⅰ-3 素形材センターのホームページをリニューアルしました New★

この度、素形材センターのホームページをリニューアルしました。素形材に関する情報、当センターの活動紹介など、情報発信ツールとして素形材業界の皆様にご活用していただけるように、現在更新を進めております。

<https://www.sokeizai.or.jp/>

Ⅱ. 素形材センター出版物情報【●☆●●】

Ⅱ-1. 月刊誌「素形材」令和3年12月号（Vol. 62, No. 12）予告 New★

【主な掲載内容】

◇特集 「素形材月間」報告

◆令和3年度 素形材月間事業

◆第37回素形材産業技術賞

「素形材産業技術賞」選考経過報告

◆第37回素形材産業技術賞受賞者

【大臣賞】ナノカーボン複合被膜チタン材とプレス成形性を具備させる表面処理技術及び連続熱処理設備の開発による燃料電池セパレータの量産化

【長官賞】差圧鋳造と砂型3D積層造形の活用による航空機用複雑形状鋳物製造プロセスの開発

【局長賞】進化型CVT金属ベルト用エレメントの新せん断加工法の開発～世界最高せん断面の追求～

【会長賞】二輪車過給エンジン用クランクケース一体型シリンダの量産鋳造技術の開発

【会長賞】インライン生砂特性自動計測装置と砂処理設備へのフィードバック制御の開発

【会長賞】アルミニウム合金ダイカストの溶湯圧力無線計測システム技術の開発

【会長賞】ダイカストのランナー加圧による鋳巣発生抑制とダウンサイジング化の技術開発

◆第59回素形材産業優良従業員表彰

「素形材産業優良従業員表彰」選考経過報告

◆第59回素形材産業優良従業員表彰受賞

◇政策 TREND：素形材産業の工業高校への出前授業について

◇TOPICS：「特別講義」プレス加工のトライボロジー（その1）

－未完成的な学問、少し深掘りして整理してみよう－

■バックナンバーも含め、下記よりお申込みいただけます。

http://sokeizai.or.jp/japanese/publish/monthly_sokeizai.html

【申込み・問合せ先】

「素形材年鑑」(令和2年版)を11月末に刊行いたしました。
この年鑑は、素形材に関する統計をできるだけ広範囲に集め、簡単な解説をつけたもので、国内統計・海外統計・参考統計により構成されています。
国内統計では、令和2年の日本の産業動向概況等に加え、日本の素形材産業及び素形材関連産業の概況と業種別現況として、主に令和2年までの品目別生産量・生産額と生産構成比等について、時系列変化を一覧化した資料を収録しています。
海外統計では、海外の素形材各分野の業種別の動向についての統計を収録しています。
是非ともご活用下さいますよう、皆様のご利用をお待ちしております。

- 装丁：A4判 243頁
- 定価：¥12,650(消費税・送料込)
- ※素形材センターの賛助会員(特別賛助会員・一般賛助会員)は50%割引、協賛会員は10%割引でご購入いただけます。

■お申込み、詳細については下記にご連絡ください。

【申込み・問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 業務部
e-mail:gyoumu@sokeizai.or.jp
<https://www.sokeizai.or.jp/pages/31/#block383-665>

III. 素形材業界関連一募集・トピックスー【●●☆●】

III-1. 第11回バルブフォト五七五コンテスト New★ 【一般社団法人日本バルブ工業会】

バルブがいかに広く世の中で使われているかを皆さまに知っていただきたく、このコンテストを開催いたします。バルブと私たちの暮しのつながりを写真と川柳で表現してください。ユーモアあふれる作品、芸術的な作品、ほのぼののできる作品、切れ味鋭い作品をお待ちしています。

- ◆賞の種類：最優秀作品賞 1名 賞金12万円
 広報委員長賞 1名 賞金3万円
 優秀作品賞 3名 賞金各3万円
 入選 5名 賞金各1万円
- ◆応募締切：2022年1月31日(月)
- ◆応募方法：下記URLよりご応募ください。
<https://j-valve.or.jp/valvephoto575/>
- ◆お問合せ：工業会へお問い合わせください
info@j-valve.or.jp、または TEL:03-3434-1811

III-2. IoT研究部会シンポジウム New★

令和4年2月中旬に開始予定の第10次公募から、「デジタル枠」が新設されます。
これは、DX（デジタル・トランスフォーメーション）に資する革新的な製品・サービスの開発やデジタル技術を活用した生産プロセス・サービス提供方法の改善等を行う事業者を対象に、補助率を2/3に引き上げた新たな申請類型が創設されるものです（通常枠は1/2）。これに伴い、令和2年度第3次補正で措置した「低感染リスク型ビジネス枠」の申請類型は終了となります。

また、第10次公募から「グリーン枠」も新設されます。

これは、温室効果ガスの排出削減に資する革新的な製品・サービスの開発や炭素生産性向上を伴う生産プロセス・サービス提供方法の改善等を行う事業者を対象に、補助上限額最大2,000万円、補助率2/3の新たな申請類型を創設するものです。

■詳細は以下をご覧ください。

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/2021/hosei/seisansei.pdf>

■ものづくり補助金の概要は以下をご覧ください。

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/2021/hosei/mono.pdf>

IV-3. 新型コロナウイルス感染症関連支援策について 【経産省】New★

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、足元ではだいぶ落ち着いてはいるものの、未だ多くの事業者の皆様が多大な影響を受けておられます。新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の方々に対する、経営相談、資金繰り、給付金、設備投資・販路開拓、経営環境の整備から税・社会保険・公共料金対応まで幅広く支援策を網羅した経済産業省のパンフレットが12月2日付けで最新版に更新されております。支援策の全体像を俯瞰するに大変役に立つものと思われまますので、是非とも参考にして下さい。

■詳細は以下をご覧ください

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf?1202>

■「メルマガ素形材」は、基本、毎月2回程度で発行致します。

次回をお楽しみに！

■「素形材業界関連—募集・トピックス等」に掲載ご希望の方は、

「1. 件名 2. 主催者名 3. 概要 4. HPリンク先」

を記載の上、mail@sokeizai.or.jp までお送り下さい。

■登録内容の変更、配信停止希望はこちらから

<https://sokeizai.or.jp/mailmag/index.html>

■お問合わせ、ご意見、ご感想、また掲載内容のご要望はこちらから

gyoumu@sokeizai.or.jp

■メルマガ 素形材は、今回で第369号となります。メルマガ素形材は“利用しやすい素形材情報”を目指して発信しています。より多くの方にご覧いただくことで内容の充実を図りたいと思っています。

読者の皆様のご意見、ご感想はもちろんのこと、ご関係の方々を当センター事務局にご紹介・ご連絡ください。

■発行元：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階 301号室
一般財団法人 素形材センター

TEL：03-3434-3907 FAX：03-3434-3698 <http://sokeizai.or.jp/>

※ドメイン変更による不着メールが多くなっております。ご所属機関のドメインが変わられた際には必ずお知らせくださいますようお願い致します。